

⑯〔松平直賢なおかた（朝矩ともりのり）宛行状あてが い〕

宝暦2（1752）年9月16日

前橋藩主松平直賢（朝矩）が、川木瀬兵衛ふじよに扶助として200石を与えた文書です。

川木家の祖は、会津藩主加藤喜（嘉）明に仕えていましたが、加藤家が改易されたため、正保2（1645）年山形において出羽山形藩主松平直基なおもとに召し抱えられたとされています。

川木家文書には、川木家の別の一族が仕えた白河藩主（後に二本松藩主）丹羽光重による宛行状2点も含まれています。

為扶助高式百石事

充_二行之_一詔、全可_二

所務_二者也、

宝曆二年九月十六日



川木瀨兵衛

【史料⑩】〔松平直賢（朝矩）宛行状〕（宝曆二年）

〔釈文〕

為_二扶助_一高式百石事、

充_二行之_一詔、全可_二

所務_二者也、

宝曆二年九月十六日

（直賢・黒印）

川木瀨兵衛とのへ

〔読み下し文〕

扶助（ふじよ）として、

高式百石の事、

これを充行おわんぬ、

全て所務すべきものなり

宝曆二年九月十六日

（直賢・黒印）

川木瀨兵衛とのへ